

あなたが関心を持つ“グローバルな社会課題”は？

その解決に向けて、どんなアクションを起こしますか？

【基本情報】

氏名・団体名：

カサス石井愛育子、吉良遥香、高婉婷
団体名：QUACC

JANIC2025学生アイデアコンテスト応募用紙



学校名：

大阪大学大学院、九州大学、東京大学大学院

- ① あなたが関心を持つグローバルな社会課題は何ですか？
その課題を選んだ理由や、きっかけとなった出来事・経験などがあれば教えてください。

解決したいと思うグローバルな社会課題は「**生理の貧困**」である。

<自分の実体験>

この課題に目を向けようと思ったきっかけは、ある日授業中に突然訪れた生理である。その日に限って生理用品を持っておらず、授業中という状況では友人に助けを求めることもできなかった。そして、焦りと腹痛を抱えながら、近くのコンビニまで歩いて買いに行くしかなかった。その道のりが、これほど長く辛く感じられたことはなかった。ようやくたどり着いたコンビニで、私はさらに二つの壁に直面する。一つ目は、緊急時に必要な1枚だけを買えず、複数個入りのパッケージを買うしかないという「**経済的な壁**」。そして二つ目は、生理用品を隠すようにレジへ運び、店員が当たり前のように紙袋で包む光景に象徴される「**心理的な壁**」だった。

<現状>

海外では、生理用品が無償で提供されている学校や公共施設のトイレがある。突然の生理に慌てずに対応することができ、安心して活動を継続できる。世界では生理に関わる取り組みがすでに始まっている。

生理は、女性にとって自然な現象であり、多くの女性が生理痛の痛み苦しんでいるにも関わらず、日本では、タブー視されている。そのため、上記の「経済的な壁」や「心理的な壁」に加えて体調が悪い時に学校や仕事を休めなかったり助けを求めにくかったりと「生理」に関する問題を誰にも打ち明けられず、一人で悩むことが多い。

<自分の経験を生かした今後の展望>

この気づきは、決して「個人の不注意」などではないと私に痛感させた。
「もし、体調が優れず、買いにすら行けなかったら？」「もし、この出費が難しい状況だったら？」私一人の体験の裏には、同様、またはそれ以上に深刻な困難に直面している学生や教職員、そして多くの女性たちの姿が隠れているに違いない。この気づきこそが、「今、自分にできることは何か」を強く意識するきっかけとなった。だからこそ**必要な時に当たり前に必要なものが誰でも安心して入手できる環境づくり**に挑戦したい。

体験コミック



あなたが興味を持つ“グローバルな社会課題”は？

その解決に向けて、どんなアクションを起こしますか？

② その課題の解決に向けて、あなたが考えるアイデアやアプローチを教えてください。

技術、仕組み、キャンペーンなど、発想そのものを自由に書いてみよう！

生理痛体験ワークショップ

生理に苦しむ人に出会った場合、自身に関わる問題ではないので関係ない、当事者の問題だと捉えがちである。自身に直接関わらなくても正しい知識を持ち、自分ごととして意識化することで誰もがより安心して生きやすい社会が実現する。

生理痛の痛みは体質の問題だけでなく、その時の精神状態や環境の変化など誰でも変化が起こりうる現象であるため、男女共に体験し、学ぶことで生理痛が酷い人への対応も寛容になることが期待できる。

理解度を調べるため、研修前後で生理に関するテストを行う予定である。また、ワークショップ後には周りに生理で困っている人がいる場合の適切な対応法マニュアルを配布したい。

日本初！生理博物館

台湾には世界で唯一の月経博物館がある一方で、日本には一時的な展示会はあるものの台湾のような施設はない。生理用品、生理の症状生理前後も含む)、薬の種類などを取り上げる予定である。イベントのような特別な機会ではなく、もっと日常に溶け込むようなアクセスのしやすい施設を目指したい。

生理学習ゲーム



生理が始まるのは、平均して10歳から14歳ごろ、小学校高学年から中学生の時期である。多くの子どもたちが初めての生理で驚いたり、不安になったりしないためには、教科書の知識だけでなく、より楽しい方法で学ぶ機会があるのが理想的である。

そこでゲームを通じて学ぶ方法が効果的であると考える。例えば、生理に関する知識を学べる「かるた」や「人生ゲーム」が挙げられる。これにより、遊びながら自然と体に起こる変化について知ることができる。

作成したカードゲームは、地域の小学校や中学校などで一緒に体験したい。

Think Globally,
Act Locally

SNS活動



これまで、45カ国の大学生を対象にインタビュー調査を実施した。今後は、大学の留学生コミュニティなども活用することにより、同じ国の中でも、より多様な意見を収集していく予定である。

現状、回答者の多くは女性であるが、生理に関する男性の意識を高めるという目的のためには、女性だけでなく男性の視点も調査に取り入れる必要がある。

そして、調査で明らかになった各国の生理をめぐる状況については、「#QUACC」などのハッシュタグを活用し、広く情報を発信していきたい。

あなたが関心を持つ“グローバルな社会課題”は？

その解決に向けて、どんなアクションを起こしますか？

③ そのアイデアを実現するとしたら、どんな準備やステップが必要になると思いますか？

「いつ・どこで・誰と」連携するか、必要なリソースや協力体制など、実現までの道筋を描いてください。

「いつ・どこで・誰と」連携するか

【スケジュール計画】

2025年10月～2026年8月 インタビュー実施、SNS活動

2025年12月～2026年1月 専門家との研修

2026年2月 台湾の月経博物館へのフィールド調査

2026年3月～ 日本初生理博物館の企画

2026年5月 対応法マニュアル作成

2026年6月 生理痛体験ワークショップ開催

2026年7月 カードゲーム作成

2026年8月 小中学校でのカードゲームワークショップ

2026年9月～10月 反省

必要なリソースや協力体制

【予算計画】

①総予算:

400,000 円

②費用の内訳 (例...印刷費2万円、交通費5万円):

ワークショップ:6万円

SNS活動:2万円

印刷費:2万円

研修費用:30万

③資金調達方法

(例...クラウドファンディング、学校からの補助金):

学校からの補助金:10万円

学園祭、募金活動:5万円

クラウドファンディング:8万円

あなたが関心を持つ“グローバルな社会課題”は？

JANIC2025学生アイデアコンテスト応募用紙



その解決に向けて、どんなアクションを起こしますか？

※当てはまる方に ☒ をいれよう！

④ そのアイデアの実現に向かって今のあなたが踏み出せそうな一歩(アクション)はありますか？

☒ すでに取り組んでいることがある:できるだけ具体的に教えてください。

☐ まだ実行していない:「これなら始められそう」と思う最初の一歩があれば書いてみてください。

・また、そのアクションを始めるうえで、あるいはさらに広げていくうえで、自分にとってどんな支援や環境があると助かるかも教えてください。

これまでの活動内容

- ①「生理の貧困」に関する調査やデータ収集
- ②九州大学 伊都キャンパスに生理用品を無償提供
- ③「生理の貧困問題」に関するポスターをトイレに掲示
- ④世界の45ヶ国以上の大学生へのインタビュー調査
 - ・各国における「生理」の捉え方
 - ・生理用品の値段
 - ・生理に関わる今後の社会的な取り組み

⑤ SNS活動(日英)

- ・インタビュー調査のまとめ(インスタ: @quacc)
- ・生理の仕組み
- ・月経衛生デー、国際女性デー

⑥ 活動内容に関するウェブサイトの開設

⑦『Period. End of Sentence.』ドキュメンタリー鑑賞会主催

⑧『Period. End of Sentence.: A New Chapter in the Fight for Menstrual Justice』読書会主催

⑨ 月経ブレスレットイベント開催

⑤



⑧



⑨



助かる支援や環境

専門家: ソーシャルビジネスに詳しい専門家のアドバイス

- ・どのようにナプキンの会社などと連携できるのか。
- ・資金を提供してくれるビジネスをどのように探すのか。
- ・資金をどのように集めたら良いのか。
- ・どのようにSNSマーケティングを効果的に行うのか。

産婦人科医: インタビューやイベントを企画する際に正しい知識を提供できるように監修など協力してもらおう。